

## 「課題解決先進圏（仮称）高知広域連携中枢都市圏」※の挑戦



※人口・経済の一極集中や少子高齢化など、全国より先行する課題について、「課題解決先進圏」を目指す高知県と協力しながら、取組を進めるもの。

### ア 圏域全体の経済成長のけん引

#### 課題

#### 高知市に集約されたマーケット機能の活用

- ・ 県内の1次産品の移出に占める高知市の割合  
農業**66.0%** 林業**39.5%** 漁業**46.2%**  
⇒高知市は、県内の**1次産品のマーケット**。
- ・ 県内総生産額に占める高知市の割合**47.7%**  
⇒連携による**経済波及効果**の拡大。

#### 柱となる事業

##### 日曜市出店事業

1回あたり平均  
17,000人が訪れ  
る日曜市において、県内  
市町村の農産物・加工品  
の販売や観光PRを実施。

#### 1次産品マーケット



#### 経済波及効果

##### 広域観光推進事業

携帯電話位置情報の  
ビッグデータの分析に  
より、圏域内の観光客の軌跡調査  
を行い、効果的な観光周遊プロ  
グラムの創出やPRを実施。



### イ 高次の都市機能の集積・強化

#### 課題

#### 南海トラフ地震への備え

- ・ 30年以内に70%以上の確率で発生が予想され  
ている南海トラフ地震への対応。  
⇒**災害時の医療確保**が必要。

#### 柱となる事業

##### 新高知赤十字病院への支援

南海トラフ地震発生時の災害拠点  
病院として、津波長期浸水エリア  
から長期浸水エリア外に移転予定  
の高知赤十字病院への支援により、  
災害時医療体制を確保。

#### 災害時の医療の確保



### ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

#### 課題

#### 人口の社会減

- ・ 高知市より年間**6,658人**が転出（H28）特に**関東・  
近畿圏**には、**2,979人**が転出  
⇒大都市圏からの**移住の不安を解消**し移住を促進。

#### 南海トラフ地震への備え

⇒連携による**防災人材育成**の加速化が必要。

#### 柱となる事業

##### 二段階移住推進事業

高知市に整備した  
移住滞在体験施設で、  
移住の不安を解消し、他市町村  
への移住体験ツアーなどを通じ、  
二段階移住を促進する。

#### 移住の不安解消



#### 防災人材の育成

##### 防災リーダー育成事業

高知市で開催する  
「災害に強い人」育成  
講座を双方向の送受信システム  
により、県内6ブロックのサテ  
ライト会場での同時受講を可能  
とし、県内の防災力向上を図る。

